

## 第3・4学年 道徳科学習指導案

<b>教材名</b>	どうか、生きていてくれよ (光文書院 小学どうとく ゆたかな心3 104～107ページ)		
<b>主題名</b>	いのちとは	<b>内容項目</b>	D 生命の尊さ
<b>ねらい</b>	生命はかけがえのないものであることが分かり、生命を大切にして生きようとする心情を育てる。		
<b>主題設定の理由</b>	生命の尊さの一つはその唯一性にある。ものは復元も取り換えも可能だが、生命は一つ一つがかけがえのない唯一無二のものである。そのような心から、生命を大切にして生きる意欲を高め、自他共によりよく生きることについて、考えを深めさせたい。		
<b>学習活動 (○…教師の発問)</b>	<b>導入</b>	1 「どうして命は大切なのか」について考える。	
	<b>展開</b>	2 教材「どうか、生きていてくれよ」について話し合う。  ○子どもを必死で探す岡村さんは、どのようなことを考えていたのでしょうか。  ○岡村さんが自分の命を危険にさらしてまで人の命を救おうとするのは、どうしてでしょうか。  3 1つしかない、自分の大切な命をどのように生きたいか、自分の考えを話し合う。	
	<b>終末</b>	4 教師の説話を聞く。	
	<b>今日の授業の「ここがポイント！」</b>		
救助活動を行う岡村消防士の考えから、生命を尊ぶ心と、それを生む自他の生命のかけがえのなさの自覚を深め、さらに子ども自身が自分に重ね合わせて自覚できるように考えられるようにする。			